



## 人と環境にやさしい社会をめざし、 商品開発や教育活動をはじめ様々な取り組みを展開します。

三信化工は、食と健康を楽しむ心豊かな暮らしのために、環境への負荷の削減を考え、環境保全に全社で取り組んでいます。

その一つとして、2005年に給食食器業界で初めてISO14001:2004（環境マネジメントシステム規格）の認証を千葉工場（現・成田工場）にて取得しました。

また、高齢者など食事でも不便を感じられている方に、少しでも快適に食事をしていただくために必要な情報と技術の調査研究を、業界および官学連携で積極的に進めています。（食器におけるアクセシブルデザインの標準化に関する研究会）

今後も給食食器の製造を通じて、持続可能な社会を構築し、人と環境にやさしい商品の開発・提供につとめてまいります。



### 環境への取り組み

- 2003** ■ バイオマスプラスチック製食器を開発、農林水産省食堂にて試験使用される
- 2004** ■ R-PP樹脂製の「パブリック・トレイ」（エコマーク認定商品）を発売
- 2005** ■ 「愛・地球博」のリターナブル食器としてバイオマスプラスチック製食器が採用され、レストランコーナーで使用される  
■ R-PEN樹脂製の「パブリック・トレイ」、強化R-PEN樹脂製の「パブリック箸」（エコマーク認定商品）を発売  
■ 千葉工場（現・成田工場）にてISO14001:2004の認証を取得
- 2006** ■ バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」を発売
- 2007** ■ バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」の耐久性に優れたシリーズを発売
- 2008** ■ 強化R-PBT樹脂製「パブリック箸」（エコマーク認定商品）生産時にCO<sub>2</sub>排出量の少ない強化磁器「セラクレス」を発売  
■ 「繕い（つくろい）」が、2008年度グッドデザイン賞、第2回キッズデザイン賞を受賞
- 2009** ■ 経済産業省が主幹のカーボンフットプリント算定・表示試行事業、「商品種別算定基準（PCR：Product Category Rule）」づくりに参加し、食器（陶磁器製品および合成樹脂製品）の算定ルール認証を受ける（認定PCR番号：PA-AQ-01）
- 2010** ■ 食器業界初のカーボンフットプリント（CFP、CO<sub>2</sub>排出量表示）の使用が許諾、引き続き多数のアイテムについても許諾される  
■ 日本初の「1回使用あたり」におけるCO<sub>2</sub>排出量表示が、CFP試行事業において使用が許諾される  
■ 環境対策強化磁器「ミニクローバー」発売、CO<sub>2</sub>削減を実証
- 2011** ■ 日本初のCO<sub>2</sub>「削減率」表示が、CFP試行事業において使用が許諾される  
■ 自社自身によるCFP表示が可能な企業として認証を受ける（経済産業省システム認証実証実験）  
■ 第8回LCA日本フォーラム表彰 奨励賞受賞  
三信化工が連名で取り組む環境教育事業での受賞
- 2012** ■ E-エポカル全製品においてCO<sub>2</sub>排出量を表示（CFPシステム認証による）  
■ 第14回グリーン購入大賞 優秀賞受賞  
三信化工が連名で取り組む環境教育事業での受賞
- 2013** ■ 第4回キッズワークショップアワード 審査員特別賞受賞  
三信化工発のワークショップ「われたらばずる」が、「エコが見える学校」の取り組みにおいて受賞
- 2014** ■ 国内2番目の環境教育等支援団体として、三信化工が参画する「資源と環境の教育を考える会『エコが見える学校』」が指定される。（文科省および環境省、環境教育等促進法）
- 2015** ■ 食と文化を通じた環境への取り組みが、月刊「学校給食」に、特集記事として取り上げられる  
■ 「エコが見える学校」…三信化工が展開する食・文化・環境の活動が、環境省の家庭環境強化推進事業の調査モデル事例となる
- 2022** ■ 取り組み継続中

#### カーボンフットプリント（CFP）とは？

商品の一生（原材料～生産～流通～使用～廃棄・リサイクルまで）の全過程を通じ、排出するCO<sub>2</sub>量を表示したものです。